

景観対策

廃屋対策について

町長／地域対策として研究検討



木下 敬子議員

木下
景観形成に最も重要なことは、環境保全と環境美化であると考え。この視点から「廃屋対策」について町長の考えを伺う。

町長

景観づくりについては、これまで地域活動の中で取り組みを推進してきました。廃屋については空家の問題も含めて地域の課題となってきたと考えています。景観等をテーマにした地域づくりを進めるなかで、良いものがあるとはいいいかな状況があると考えています。

しかしながら難しい問題もあり、個人財産に対する取り組みがどこまで可能か、先行例を勉強しながら善処策を検討する必要がありますと考えております。新たな地域対策として、研究、検討を進めて参りたいと思います。



人が住まなくなり老朽化した家屋

農業振興

農業所得向上策について

町長／大きな期待をもっている



平八重光輝議員

平八重
これまでJAと共に農業支援を行っている担い手育成支援室に22年度から県職員が配置され、町JA、県が一つの組織になるが、農業所得の向上のための施策と効果を伺う。

町長

北薩地域振興局さつま町駐在のうち4名が担い手育成支援班として駐在します。町内関係者に対して集中的、重点的、具体的かつ専門的な普及指導及び支援が受けられるものと大きな期待を持っています。担い手の確保育成、経営改善、就農促進のための情報提供、技術や知識の普及、集落営農、農作業受託組織育成による地域農業の振興な

ど普及指導、支援を受けて、経営基盤、能力を高め所得の向上につなげてまいります。また、県としても県内初の試行的取り組みであります。

その他の質問

- ・お茶価格低迷対策について
- ・東京遊楽館職員派遣について
- ・コンピュータシステムについて



県職員が配置され体制が充実した担い手育成支援室